

学校目標・経営方針	○人間を育てる
-----------	---------

山梨県立韮崎高等学校校長 野崎 哲司

本年度の重点目標	1 積極的・意欲的に学び、自ら問題を解決しようとする人間の育成に努める
	2 心身ともに健康な生活を保持し、基礎体力の向上と気力の充実に努める
	3 個性豊かで、協調性と連帯感を持つ、調和の取れた人間性の育成に努める

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標			年度末評価(1月14日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	積極的・意欲的に学び、自ら問題を解決しようとする人間の育成に努める	基礎基本の定着を図るため、少人数学習やチームティーチングを取り入れ、丁寧できめ細かな指導を行う。	教育課程の改善、少人数教育の実施
		アクティブラーニングやICTの活用など、主体的で実践的な学習内容を設定し、教員の負担軽減も考慮に入れながら効果的な教育を提供する。	ICT機器の利活用、出退勤調査
		取得可能な資格を積極的に受験させる等、個々に応じた目標を立てさせ、学力伸長を自己確認する機会を与える。	家庭科被服製作技術検定合格者数、食物調理技術検定合格者数等
2	心身ともに健康な生活を保持し、基礎体力の向上と気力の充実に努める	家庭と連携協力体制を確立し、安易に欠席や遅刻をすることなく、規則正しい学校生活が送れるようにする。	全職員による登校指導時の声掛け、挨拶運動の実施
		感染症対策や自己の健康を自分で管理するという、健康意識を啓発する。	保健室と連携し、保健だより・連絡票・掲示等で健康に関する情報発信
		一人ひとりの生徒の悩みや相談に、適切に対応するための体制を整備する。	養護講師、全日制養護教諭、スクールカウンセラー等関係機関との連携による生徒支援の充実
3	個性豊かで、協調性と連帯感を持つ、調和のとれた人間性の育成に努める	多くの体験学習、学校行事などを通して、集団の中で他者と協力する姿勢を育てる。	ものづくり体験を中心とした野外学習、果樹・野菜・花き実習などの農業体験
		新入生歓迎会や学園祭等の学校行事が、生徒たち自身で運営、活動をするための機会となるよう支援をする。	積極的に活動できる寛容な集団の支援、組織づくり
		定通総合体育大会・定通教育祭への参加を通じて、全国大会出場権を得る達成感や、チーム・集団としての連帯感を醸成する。	定通体育大会への出場、定通教育祭への作品出展や生活体験文発表

学校関係者評価	
実施日(令和7年2月13日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、様々なことに前向きに取り組み、社会に出て必要となる基礎学力や学びを続ける意欲を育てる指導を続けて欲しい。</li> <li>昨年度と課題改善策が、ほぼ同じである。積極的に課題改善に取り組んで欲しい。</li> <li>来年度、全学年が一人一台PCを持つ状態となるようだが、経済的な負担が懸念される生徒の状況を、注意深く見守って欲しい。</li> <li>多様な学習履歴を持った生徒たちが入ってくる場所であるがゆえに昨今言われる「学びの多様化」を実践すべき状況にあるのではないか。事前の計画から実践、チェック、評価等万全な準備をして臨んで欲しい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の協力を得にくい生徒もいると思うが、家庭との連携を深めつつ、人との関わりをもてる生徒を育てて欲しい。</li> <li>心のケアについては、重要な案件である。ただただ「SCとの面談機会を増やす」といったようなことではなく、「個々にどうアプローチをし、目標に繋げるかを検討していく」といった視点、先生方の共通認識の構築が必要なのではないか。</li> <li>「人間を育てる」という意識を大切に、生徒のみならず先生方もともに育ち、成長を続ける学校であることを願っている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化に伴い、時代に即した体験活動なども取り入れて、生徒に自信を持たせて欲しい。</li> <li>特に、校内行事については、生徒の人間性を育むために有効な行事であるかどうか、今一度精査し、工夫に勤めて欲しい。</li> <li>生徒減の状況下ではあるが、少ないなら少ないの行事実施方法を模索し、工夫しながら取り組んでいただきたい。生徒にとって、思い出に残る学校生活となるよう、前向きに取り組んで欲しい。</li> </ul>

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。